

I 実施者	
学部・学科	家政学部 児童学科
講座担当教員	平田 倫生 先生

II 実施概要	
講座名	赤ちゃんはどのように発達する？
講座概要	1歳までの赤ちゃんの発達を考えてみましょう。
実施日時	3月25日（月） 11時00分～11時30分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>みなさんも全員昔は赤ちゃんでした。自分がお母さんから生まれて1歳の誕生日を迎えるまでのことを、覚えている人はまずいないと思います。</p> <p>この講義では、自分がどんな段階を踏んで1歳になったのかを振り返ってみましょう。人間は、生まれてからの最初の1年、ものすごいスピードで発達していきます。今の自分を作り上げているものがなんなのか？ちょっとだけ振り出しに戻ってみる講義です。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等）</p> <p>特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	家政学部 食物学科 (1)
講座担当教員	太田 正人 先生

II 実施概要	
講座名	空腹でも活動できる身体のメカニズム - 解剖生理学入門-
講座概要	空腹時でも活動できるヒトの身体のメカニズムを学ぶ。
実施日時	3月25日(月) 10時50分~11時40分
最少開講人数	有(20名)

III 講座詳細
<p>食事を食べた後、食事中の栄養素は身体に吸収されて利用されるのだが、どのように身体活動のエネルギーに利用されるのか？しばらくの期間食べられないような状況下でかなり空腹となってしまった時にでも、私たちが平気で活動を続けることができるのはどのような身体のしくみがあるからなのか？毎日当たり前のように活動していることを、身体の機能に注目して、あらためて考えてみましょう。</p> <p>そのために、現在、日本女子大学で行われている『解剖生理学』の100分授業で、実際の講義授業『栄養と代謝』の一部を抜粋しながら、50分授業としてお話しします。</p> <p>高校生物基礎の『生命とエネルギー』や『体内環境を守るしくみ』で学んだことは大学の授業とどう関連するのか？また、さらに詳しい内容として大学の講義ではどう展開されるのか？大学の『解剖生理学』での講義内容について知っておくことが、これからの高校での学びに役立つことを願っています。</p>
(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 高校の生物基礎の教科書

※家政学部食物学科は、2025年4月より食科学部(仮称)食物学科・栄養学科として開設予定です。(設置構想中)



I 実施者	
学部・学科	家政学部 食物学科 (2)
講座担当教員	北澤 裕明 先生

II 実施概要	
講座名	食品包装の種類と役割
講座概要	身近な食品に使われている包装の種類と役割を学ぶ。
実施日時	3月25日(月) 13時20分～14時10分
最少開講人数	有(10名)

III 講座詳細
<p>食品をおいしく安全に届けるために包装は欠かせません。しかし、使い過ぎると環境に負荷をかけてしまうかもしれません。そこで、食品の品質とその加工や貯蔵、そして輸送中といった工程における変化を想定したうえで、適切に使用することが重要となります。授業では、包装が果たしている役割について、各工程との関係を踏まえながら解説します。</p> <p>本授業は、日本女子大学で行われている100分間の授業「食品加工・貯蔵学」および「食品保蔵学」の中で学習する「包装による栄養成分の変化」と「包装による品質変化」を取り上げ、50分間の授業としてアレンジしたものです。授業を通じた「食品の加工技術としての包装」といった理解が、食品開発ひいては食品科学に関心のある皆さまの進路の選択に役立つことを願っております。</p> <p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等)</p> <p>一般社団法人日本食品包装協会・編「食品包装開発秘話」<a href="https://shokuhou.jp/about_syokuhou/">https://shokuhou.jp/about_syokuhou/</a> 身近な食品包装開発の裏話です。難しい言葉も出てきますが、読み物として面白いのでぜひご参考ください。</p>

※家政学部食物学科は、2025年4月より食科学部(仮称)食物学科・栄養学科として開設予定です。(設置構想中)



I 実施者	
学部・学科	家政学部 被服学科
講座担当教員	西原 直枝 先生

II 実施概要	
講座名	衣生活から考える持続可能なライフスタイル
講座概要	身近な衣生活と持続可能性との関係について考えます。
実施日時	3月26日(火) 11時00分～12時00分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>衣服は私たちの生活にとっても身近です。この身近な衣生活は、環境、経済、社会の持続可能性に、どのようにかかわっているのでしょうか。この講義では、衣生活から考える持続可能なライフスタイルを提案します。衣服は人体に最も近い環境であり、人間の快適性、健康性にも大きな影響を与えます。今回の講座では、特に「暑さ、寒さと衣服」に焦点を当て、「衣環境学」について研究事例を挙げて紹介したいと思います。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	家政学部 家政経済学科
講座担当教員	中山 真緒 先生

II 実施概要	
講座名	育児休業制度の効果を考える
講座概要	育休制度の拡充は、本当に両立支援に繋がっているのかを考える。
実施日時	3月26日(火) 11時00分～11時45分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>出産・育児と仕事の両立を支援する制度の一つとして挙げられる育児休業制度は、女性の就業継続やキャリアに対してどの程度の効果を持っているのでしょうか。</p> <p>本講座では、理論上考えられる育児休業制度の役割を確認したあと、育児休業制度の導入や拡充が本当に両立支援に繋がっているのかを実際のデータを見ながら確認していきます。また、制度や政策の効果を正しく測るためにはどんなことに注意しなければいけないのかも合わせて解説します。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	文学部 日本文学科（1）
講座担当教員	田中 大士 先生

II 実施概要	
講座名	万葉集と中国文学—天の川はどちらが渡るか—
講座概要	『万葉集』の中国文学からの影響を七夕伝説を通じて解説する。
実施日時	3月25日（月）13時00分～13時50分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>我が国現存最古の和歌集『万葉集』は、他の時代の和歌集に比べ、中国文学の影響を強く受けている事が知られている。しかし、その影響の受け方は、我が国固有の文化と関わり、複雑である。この講座では、七夕伝説を例に取り、万葉歌では、この中国由来の伝説をどのように受容していったかを明らかにする。その際、天の川を挟んで向き合う二つの星、織り姫、彦星がどちらから川を渡って行くかを話題としたい。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等） 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	文学部 日本文学科（2）
講座担当教員	村山 実和子 先生

II 実施概要	
講座名	ことばの歴史をたどってみよう
講座概要	室町時代語訳「イソップ物語」を例に日本語の変遷について考える。
実施日時	3月26日（火）13時00分～13時50分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>高校生のみなさんは、国語の授業で、日本の古典作品を読む機会があることと思います。そこで目にする言葉は、同じ日本語のはずですが、現代の言葉とはまったく違うものに見えますよね。では、どのようなプロセスを経て、今の姿になったのでしょうか。そのように日本語の歴史について考える分野を「日本語史」と呼びます。</p> <p>この講座では、言葉の移り変わりを見るための手がかりとして、室町時代に翻訳された「イソップ物語」などの事例を取り上げながら、古典語と現代語とのつながり、それを知るための方法の一部をご紹介します。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等）</p> <p>特にありません。古典文法や歴史について、詳しい知識は必要ありません。気軽にご参加ください。</p>



I 実施者	
学部・学科	文学部 英文学科
講座担当教員	佐藤 和哉 先生

II 実施概要	
講座名	『クマのプーさん』を大学で読む
講座概要	『クマのプーさん』を通して、大学での学びへの道案内をします。
実施日時	3月26日(火) 10時00分～10時50分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>ディズニーのキャラクターとしてよく知られている「クマのプーさん」の原作について、「英語で国語と世界史の授業をする」ような感じでお話しします。大学で英語を学ぶというのは、ただリスニングが上手になるとか、速読ができるとか（それもできるようになります）、それだけではありません。言葉には「気持ち」や「雰囲気」を伝える力もあります。作品が書かれた時代の空気を伝える力もあります。そんな力について学ぶには、その国のお話や小説、歌や詩を読むのが一番！ ということがよくあります。</p> <p>この講座を通じて、「英文学科」の授業って何をやるの？ 高校の英語（や国語、世界史）の授業とどこが違うの？ というような疑問にお答えできたらと思います。英語が好きなかた、もっと好きになりたいかた、物語が好きなかた、それからもちろんプーさんが好きなかたは、ぜひこの講座をのぞいてみてください。</p> <p>本学英文学科についての説明をしたり質問にお答えしたりする時間も取る予定ですので、本学科での学びに興味がある方のご参加も歓迎いたします。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学での勉強(研究)についての好奇心</li><li>・いろいろ質問していただくと嬉しいです。前向きな気持ちで参加していただくとよいと思います。</li></ul> <p>※英文についてはこちらで説明しますが、辞書があると助けになるかもしれません。</p>





I 実施者	
学部・学科	文学部 史学科
講座担当教員	山下 将司 先生

II 実施概要	
講座名	シルクロード 千年の主人公
講座概要	シルクロード交易を千年にわたって独占した人々の実態を紹介します。
実施日時	3月26日(火) 11時00分～11時50分
最少開講人数	有(5名)

III 講座詳細
ユーラシア大陸を東西そして南北につなぎ、様々な文化やモノが行き交ったシルクロード。実際にモノを運び、交易を繰り広げたのはどんな人たちだったのでしょうか？その交易を千年にわたって独占した人々がいました。彼らの驚くべき姿を紹介します。
(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 事前送付資料(事前に送付します。)



I 実施者	
学部・学科	人間社会学部 現代社会学科
講座担当教員	周 燕飛 先生

II 実施概要	
講座名	女性就業と家族の経済学－経済発展と女性の役割の変化－
講座概要	経済学の視点から、男女格差をめぐる議論や、女性の相対的地位を決める要因、経済発展と女性の役割の変化について解説。
実施日時	3月26日（火）10時00分～10時30分
最少開講人数	有（5名）

III 講座詳細
<p>&lt; 講義の主な内容 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 男女格差をめぐる議論－Nature（ネイチャー）と Nurture（ナーチャー）－</li><li>(2) 身近な例：配偶者選択の基準における男女差</li><li>(3) 女性の相対的地位を決める要因</li><li>(4) 経済発展と女性の役割の変化</li><li>(5) アメリカと日本の経験</li></ol> <p>【豆知識】</p> <p>「キャリア」と「仕事」はどう違うのか</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等）</p> <p>特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	人間社会学部 社会福祉学科
講座担当教員	赤澤 輝和 先生

II 実施概要	
講座名	社会福祉は患者のいのちとどう向き合うのか
講座概要	医療福祉とソーシャルワークについて紹介します。
実施日時	3月26日(火) 14時00分～14時50分
最少開講人数	有(10名)

III 講座詳細	
<p>今、医療現場では社会福祉が必要とされています。本講座では、まずその背景や実際に起きている問題を理解いただきます。その上で、医師や看護師などと患者のいのちと向き合う医療ソーシャルワーカーの視点を体感してもらいます。医療ソーシャルワーカーとは、社会福祉士国家資格を有する社会福祉専門職のひとつです。</p>	
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。</p>	



I 実施者	
学部・学科	人間社会学部 教育学科
講座担当教員	桑嶋 晋平 先生

II 実施概要	
講座名	教師とはなにか？
講座概要	教師という身近な存在を歴史や思想の観点から問いなおします。
実施日時	3月25日（月）13時00分～13時55分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>この講座は、教師という存在がいかなるものであるかを、その歴史や思想、現代の状況から探求します。受講されるみなさんにとって、教師とはごく身近な存在であるかもしれません。しかし、身近であるがゆえ、その本質や多面性がみえにくいということも往々にしてあります。そのため、この講座では、歴史や思想の観点から教師がどのような存在であるかを問うていくとともに、現在の教師をめぐる状況をおさえることで、教師を多面的に捉えていくことを目指します。</p> <p>教師がどのようなものかを深くすることで、日常の学校生活や教師の見え方がこれまでとは異なるものになり、教師とのかかわり方や学校での学びに対する新たな視点や価値観を得られるとかがえています。また、将来教師になりたいと考えている方には、その仕事の一端を垣間見る機会となればとかがえています。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等）</p> <p>参加者の方に自身の経験などについて聞くことがあるかもしれませんので、声が出せる環境で受講をしてください。</p>



I 実施者	
学部・学科	人間社会学部 心理学科
講座担当教員	藤崎 和香 先生

II 実施概要	
講座名	他人の知覚と自分の知覚
講座概要	そもそも人はどうやって物事を知覚したり認知したりしているの？
実施日時	3月26日(火) 13時00分～13時30分
最少開講人数	有(10名)

III 講座詳細
<p>2015年に、見る人によって青黒に見えたり白金に見えたりするドレスの写真が、SNSで拡散され、世界中の人々の注目を集めました。また2018年には、聴く人によってYannyに聞こえたりLaurelに聞こえたりする音声も、SNSで拡散され、世界中で大きな話題となりました。どうしてこのように人によって見え方や聞こえ方が異なる場合があるのでしょうか。</p> <p>今回の春期セミナーでは、「そもそも人はどうやって物事を知覚したり認知したりしているのか」、という認知心理学の根本的な問題を紐解いていくことを通じて、「どうして人によって見え方や聞こえ方が異なる場合があるのか」について簡単に概説します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 自分の知覚や認知というものは他人と共有することができない自分だけのものであること。</li><li>2. ものを見たり音を聴いたりする基本的な脳の仕組みは同じだけれども、他人と自分で明らかに見え方や聞こえ方が異なる場合があるということを知っておくことが、他者理解やコミュニケーションにおいて重要であること。</li></ol> <p>この2点を、今回の春期セミナーを通じて感じ取っていただけたらと思います。</p> <p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 用意するものは特にありません。 セミナー中、Zoom画面の撮影や、録音、録画をしないようにお願いします。</p>



I 実施者	
学部・学科	理学部 数物情報科学科（1）
講座担当教員	秋本 晃一 先生

II 実施概要	
講座名	現代物理学と放射線
講座概要	現代物理学、特にX線と放射線について概説する。
実施日時	3月25日（月）13時00分～13時50分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>現代物理学は19世紀末のレントゲンによるX線の発見からはじまった。その後、アインシュタインによる質量とエネルギーの等価性の発見により、核エネルギーや放射線を原子核から取り出すことが可能になった。現在、X線や放射線は医療をはじめ様々な分野で用いられているが、その原理や発見の経緯について物理学の立場から概説する。本講座は本学の教養科目及び数物情報科学科の学科専門科目の内容を再構成したものである。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等） 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	理学部 数物情報科学科 (2)
講座担当教員	藤田 玄 先生

II 実施概要	
講座名	曲がりやすいコースを作るには
講座概要	身の回りの様々な“コース”の形に隠された数学をお話します。
実施日時	3月25日(月) 11時30分～12時20分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>道路、線路、遊園地のアトラクション、陸上トラックなど、身の回りにはいろんな“コース”があります。それらがどのように設計されているか考えたことがありますか？実はその設計には数学が大きく関わっています。それぞれの目的に則した設計があると思いますが、この講座では曲線の曲がり具合を表す曲率という量に注目して様々なコースを設計する際に重要となる考え方を説明します。特に、高速道路や線路が数学の力を使っていかにして安全に設計されているかをお話ししたいと思います。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	理学部 化学生命科学科（1）
講座担当教員	大野 速雄 先生

II 実施概要	
講座名	記憶・学習のしくみ
講座概要	記憶や学習がどのように起こるのか、わかったことを紹介します。
実施日時	3月26日（火）13時00分～14時00分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>私たち人間を含む動物は、まわりの様々な情報を記憶して状況の変化にうまく対応することで、生存や繁殖のために役立っています。それでは人間や動物は、どのようなしくみで過去の経験を記憶し、思考や行動を変化させているのでしょうか。記憶や学習をする能力を上げることはできるのでしょうか。このセミナーでは、分子や細胞といったマイクロなレベルで見たときの記憶・学習のしくみについて、最近の研究成果をまじえながら紹介します。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等） 特にありません。</p>





I 実施者	
学部・学科	理学部 化学生命科学科（2）
講座担当教員	佐藤 香枝 先生

II 実施概要	
講座名	分析化学 ～化学物質の視点から謎を解く～
講座概要	世の中の謎を化学物質の視点から解き明かした例を紹介します。
実施日時	3月25日（月）10時30分～11時30分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>分析化学は、化学物質の種類や量を明らかにする学問分野です。世の中のわからないことを、化学物質の視点から解いていきます。たとえば、新型コロナウイルス感染症の検査に活躍した「PCR法」は、感染症の検査以外にも、犯罪捜査における犯人の特定（DNA鑑定）などにも使われています。また、炭素、窒素、水素、酸素などの「安定同位体」の比率を調べると、農水産物の産地を鑑定することもできます。さらに、このDNAの分析や、同位体の測定は、考古学や歴史学にも関わることもできるのです。この講座では、分析化学がどうやって謎の解明に貢献できたのかをお話します。</p>
<p>（受講者が事前に用意するもの、注意点等） 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	国際文化学部 国際文化学科
講座担当教員	杉山 直子 先生

II 実施概要	
講座名	アメリカ文化にみる「多様性」と「越境」
講座概要	アメリカ黒人女性文化に描かれた多様性と越境について解説する。
実施日時	3月26日(火) 11時00分～11時40分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>アメリカ合衆国における人種、民族、階級、ジェンダーにかかわるさまざまな対立、差別に抗議する運動等は、近年 SNS の普及も要因となって「#MeToo」「#BlackLivesMatter」といった形でも世界に広く知られてきている。しかしアメリカ文化の歴史をたどると、実はそのような複数の要因の中で生き延びてきたさまざまな集団の固有の文化が重要であることがわかる。今回の講義では、その中で特に黒人女性の文化に注目し、彼女たちの作品が描き出す豊かな多様性と異文化への「越境」の可能性について解説する。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。</p>



I 実施者	
学部・学科	建築デザイン学部 建築デザイン学科(1)
講座担当教員	細井 昭憲 先生

II 実施概要	
講座名	建築と環境
講座概要	建築物は人の生活に不可欠であると同時に環境に大きな負荷をかけています。健康と快適性を維持しながら環境に対する負荷の少ない建築について講義します。
実施日時	3月25日(月) 10時30分～11時00分
最少開講人数	無

III 講座詳細
建築に関わるエネルギー消費量が時代とともにどのように変化したのかを説明し、現代の建築物の環境負荷の程度について具体的に理解する。
建築の環境、設備分野を中心に、健康と快適性を維持しながら、可能な限り環境への負荷を減らすための建築的工夫や技術について紹介する。
建築物における環境負荷削減の重要性と、そのための基本的な考え方を理解することを目的とする。
(受講者が事前に用意するもの、注意点等) 特にありません。



I 実施者	
学部・学科	建築デザイン学部 建築デザイン学科(2)
講座担当教員	篠原 聡子 先生

II 実施概要	
講座名	シェアする建築のデザイン
講座概要	近年、単身者の住まいとして定着してきたシェアハウスについて、建築的な視点から考える。
実施日時	3月26日(火) 12時00分～12時30分
最少開講人数	無

III 講座詳細
<p>近年、単身者、特に若いシングルの人々の住まいとして定着してきたシェアハウスについて、建築的な視点から、考える。</p> <p>シェアハウスという建築の原点は、実は近代の発明ではない。江戸時代には、長屋と呼ばれる井戸、便所などの生活インフラをシェアする単身者や小家族のために住まいがあった。それは、小さな居住単位で暮らす人々にとって、単に生活インフラを共有するだけではない意味をもっていた。しかし、近代の住まいはそうしたシェアをする空間を排除し、個人や家族のプライバシーを優先するものと変化していった。それは、ときとして個人や家族の孤立を招くものとなった。</p> <p>シェアハウスは近代の住まいが切り捨てたものを再構築する可能性をもっているのではないだろうか。</p> <p>現代のシェアハウスの事例を紹介しながら、家族でない個人が集まって暮らすためのデザインについて考える。</p>
<p>(受講者が事前に用意するもの、注意点等)</p> <p>特にありません。</p>

